

■石川淳 芥川賞で文壇に特異な位置を確立、旺盛な創作力と学識で、革新的かつ密度の濃い作品を書き続けた。

いしかわじゅん

Bushidou・1899= 東京浅草に生まれる。

幼時から同じ町内で漢学者の祖父と祖母のもとで育った。

日露戦争終・1905= 6歳：小学校に入学。この頃から祖父に「論語」の素読を受ける。

アヲキ創刊・1908= 9歳：

大逆事件判決1911=12歳：私立京華中学校に入学。

明治天皇没・1912=13歳：

和漢の古典、江戸文学、漱石の作品などに親しみ、映画、落語、講談、歌舞伎を楽しむ。

第一次大戦始1914=15歳：祖母の養子となる。

ロシア革命・1917=18歳：東京外国語学校仏語部に入学。

本格政党内閣1918=19歳：投稿雑誌で書簡文が入選。

ベルサイユ条約・1919=20歳：養母が死去。

大暴落・・・1920=21歳：東京外国語学校を卒業。日本銀行に勤めたが、すぐ退職、\_アルバイトをしながら文学者を志す。

原敬首相暗殺1921=22歳：\_中学の同窓と文芸雑誌「現代文学」を創刊。コント、小説、エッセイを発表、編集面でも活躍。

水平社結成・1922=23歳：\_「日本詩人」にフランス文学評論を書くなど、フランス象徴主義の方法的消化から出発し、

関東大震災・1923=24歳：\_A・フランス「赤い百合」を訳刊。

護憲三派圧勝1924=25歳：福岡高等学校講師になり、赴任。神父からカトリック精神を学ぶ。\_ジイド「背徳者」を訳刊。

治安維持法・1925=26歳：学生運動を教唆扇動したとして休職となり、帰京。

円本時代始・1926=27歳：\_C・F・ラミュズ「悩めるジャン・リュック」を翻訳刊行。

金融恐慌・・・1927=28歳：この頃から東京で放浪生活。

共産党事件・1928=29歳：\_ジイド「法王庁の抜穴」を訳刊。

アルバイトをしながら、文学者たちと親交。一時、海老名弾正宅に下宿し、新たなグループと交遊するなど

、この時期は\_小説方法の開眼を待つひそかな雌伏期間を経て、

満州事変・・・1931=32歳：

国際連盟脱退1933=34歳：\_雑誌にエッセイを寄稿し始める。モリエール「ドン・ジュアン」、

帝人疑獄事件1934=35歳：\_「人間ざらひ」「タルテュフ」を訳刊。

芥川直木賞始1935=36歳：\_\*「作品」に発表した短編「佳人」が牧野信一に称賛され、以後、同誌に寄稿。

二二六事件・1936=37歳：\_「文芸汎論」にコント、エッセイを寄稿し出す。「普賢」を発表し、

日中戦争始・1937=38歳：\_\*芥川賞を受賞。以後、文学界に特異な位置を確立する。以後、「山桜」、

健保+総動員 1938=39歳：\_反軍国調とされ発禁処分となった短編「マルスの歌」、

第二次大戦始1939=40歳：\_長編「白描」、

稲垣足穂らと親交、坂口安吾を知る。

日米開戦・・・1941=42歳：\_批評「渡辺華山」「森鷗外」、

・・・1942=43歳：\_「文学大概」などを刊行。

戦中期に江戸戯作文学に親しみ、戦争に軽妙に抵抗するたくみなパロディの手法を身につけた。

年金+総武装 1944=45歳：\_太宰治と親交。歴史読物「義貞記」。

敗戦・・・1945=46歳：\_焼け出されたのち、厚生省の外郭団体に勤め、北陸・近畿・四国で被差別部落を視察。

新憲法公布・1946=47歳：\_短編「黄金伝説」以降、ほぼ毎月一作を文芸雑誌に発表。「焼跡のイエス」、

新憲法施行・1947=48歳：\_\*小説集「かよひ小町」を刊行、以後毎年、1、2冊を刊行。

極東裁判決・1948=49歳：\_「処女懐胎」などで時代の創世的渾沌を造型。

独立回復・・・1951=52歳：

TV放送始・・・1953=54歳：\_「鷹」「珊瑚」は戦後革命期の終焉に贈られた美しい挽歌となる。

国連加盟・・・1956=57歳：\_小説集「紫苑物語」を刊行し、

なべ底不況・1957=58歳：\_芸術選奨文部大臣賞。3年かけて評伝「諸国崎人伝」を発表した。

安保闘争・・・1960=61歳：\_明治大学で安保反対の講演。随筆集「夷斎饒舌」、

タイタイ病始・1961=62歳：\_「石川淳全集」全10巻刊行開始。芸術院賞。ドナルド・キーンが「紫苑物語」を英訳。

全国総合計画1962=63歳：\_芥川賞選考委員となる。

TV宇宙中継始1963=64歳：\_芸術院会員。

大学紛争始・1965=66歳：\_「至福千年」で新しい視界をひらく。

美濃部都知事1967=68歳：\_川端康成・安部公房・三島由紀夫と中国文化大革命批判アピール。

震ヶ関ビル・1968=69歳：\_「石川淳全集」全13巻刊行開始。

全共闘ビル・1969=70歳：\_以降3年にわたり、朝日新聞の「文芸時評」を担当。

大阪万博・・・1970=71歳：\_中央公論社の「日本の名著」の「本居宣長」を責任編集。

トルネョック・・・1971=72歳：\_記紀伝承と現代東京を結びつける大作「狂風記」の執筆を開始、

石油ショック1973=74歳：

成田衝突・・・1978=79歳：\_岩波書店の「鷗外全集」を編集。

革新大敗北・1979=80歳：\_「石川淳全集」全17巻刊行開始。

貿易摩擦問題1980=81歳：\_「狂風記」を完結刊行。

・・・1981=82歳：\_「江戸文学掌記」で読売文学賞。

中曽根内閣・1982=83歳：\_朝日賞。

ドイツユーロ・1983=84歳：\_「六道遊記」を発表するなど、\***80を越えてなお衰えぬ旺盛な驚異的な創作力**を示して、

竹下内閣・・・1987=88歳：\_肺癌による呼吸不全で\_没した。

新潮日本文学アルバム、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、